

～都会猫の暮らし～ 屋外は猫にとって危険がいっぱいです。また住宅が密集しており、近所に迷惑をかけてしまうことが多いため、人間同士のトラブルも起きてしまいます。

## 第1章 飼い猫について

人も猫も暮らしやすい社会にするために…完全屋内飼育にしましょう。

猫が外に出かけていって何をしているか毎日把握できますか？

飼い猫を危険から守り、長生きさせるため、また飼い主として猫の行動に責任を持つために、猫は屋内で飼育しましょう。猫を外出自由させている人は完全屋内飼育を目指しましょう。

※環境省の「家庭動物の飼養および保管に関する基準」でも、猫の屋内飼育が推奨されています。



猫もお散歩  
できますよ

### ～ 飼い主が猫のために守ること ～

- 首輪と名札、マイクロチップ等を着けましょう
- 健康管理をしっかりしてあげましょう
- 不妊去勢手術をしましょう
- 必ず最後まで飼育をしましょう

### 屋内飼育のメリット

- ★ 大事な猫を守ります。  
交通事故、虐待、誘拐、けんか、迷子などの危険から猫を守ります。
- ★ ご近所トラブルをなくします。  
フン尿による汚染、いたづらや爪とぎによるご近所とのトラブルを起こしません。
- ★ 健康管理ができるので、病気を防ぎ長く一緒に過ごせます。



### 猫の飼い方について、もう一度考えてみましょう

#### 【これから猫を飼う人】

- 猫という動物のことをよく知っていますか？
- 20年間一緒に暮らせますか？
- 屋内で飼うことができますか？
- 猫にかかる費用は大丈夫ですか？

#### すべてチェック☑がつかますか？

#### 【今猫を飼っている人】

- 屋内で飼っていますか？
- 首輪と名札は着いていますか？
- 不妊去勢手術はしていますか？

#### ☆猫を迎える環境の準備

- 落ち着ける隠れ家
- 危険なもののチェック  
(電気コード、観葉植物など)
- 必要なものの用意  
(フード、トイレ、爪とぎ、キャットタワーなど)

#### ☆屋内の生活に慣らすには…

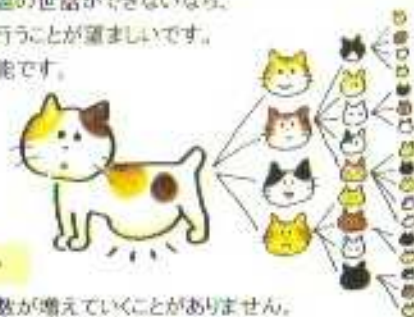
- 1 最初はケージ(檻)などを利用
- 2 落ち着ける隠れ家を作り、あまり構わない
- 3 上下運動できる場所やおもちゃを用意



## 不妊去勢手術について

猫は生後4～6か月で最初の発情期が来ます。

発情時に交尾をするとメスは必ず妊娠し、2か月後には5、6匹の子猫を出産します。生まれる子猫の世話ができないなら、最初の発情期前に手術を行うことが望ましいです。妊娠していても、手術は可能です。



### ● 不妊去勢手術をすると…

- 子猫が産まれて個体数が増えていくことはありません。
- 早く適切な時期の手術により、加齢に伴い起きやすい生殖器系の病気を防ぐことができます。
- 発情によるネコのストレスを減らしてあげることができます。
- 発情行動や攻撃性がおさまり、穏やかで人に慣れやすい猫になることがあります。オスのスプレー尿によるマーキングなどの問題行動が減ります。

### ● 注意する点

手術後は肥満や糖尿病などに気をつけましょう。



### ノラ猫の不妊去勢手術をするときは

- 必ず猫に飼い主がいないと確認した上で不妊去勢手術を行ってください。
- 手術後は、決して別の場所に放したりせず、元の場所に戻してください。
- 手術が終わっている目印として、耳ピアスや、耳先カット等をして、個体識別できるようにしましょう。猫の写真と撮ってリストを作り、台帳管理するのも良い方法です。



わたしたち 不妊去勢手術済みぞ

耳カットもピアスも、麻酔のかかっている手術中にしもうたから、いたくなかったよ!

安易な飼育放棄や、他の場所へ捨て去ることは法律で禁止されています!

やむを得ない理由で飼育が続けられなくなった場合は、あらゆる手を尽くし、新しい飼い主を探しましょう。